

軽井沢町追分公民館での
教養講座1に参加
災害について学びました

- ・群馬大学：内田陽子
- ・2026年8月2日



気象庁・気象台が発表する防災気象情報

令和8年5月29日より
気象の警報などが大きく変わりました

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました（特別警報の新設など）

 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

<学習したこと>

近年は気象異常がかわってきた。例えば大雨が集中的におきている

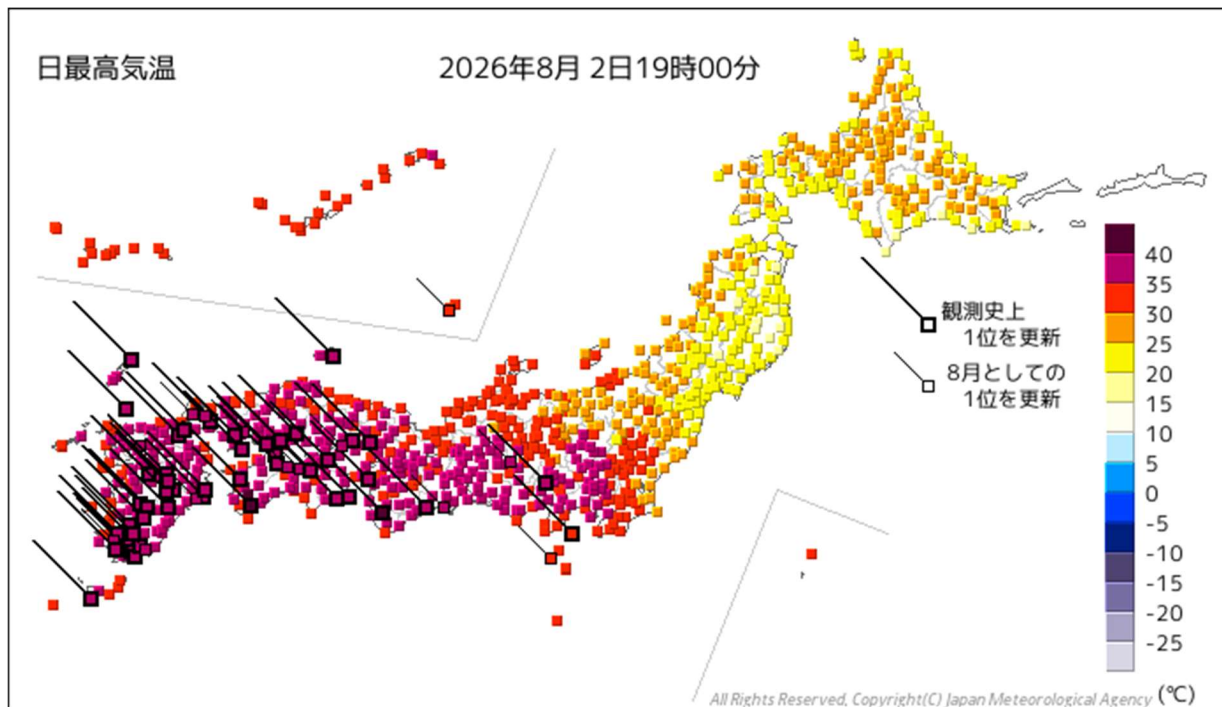
よって、以下の必要性がアップ
早期に先の日程の情報を伝える
線状降水帯予測も伝達

経時的に表にして情報提供
気象の予測と事前の備え・対応をする

図は気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>、2026年8月2日検索

気象庁のHPで情報を確認してみよう

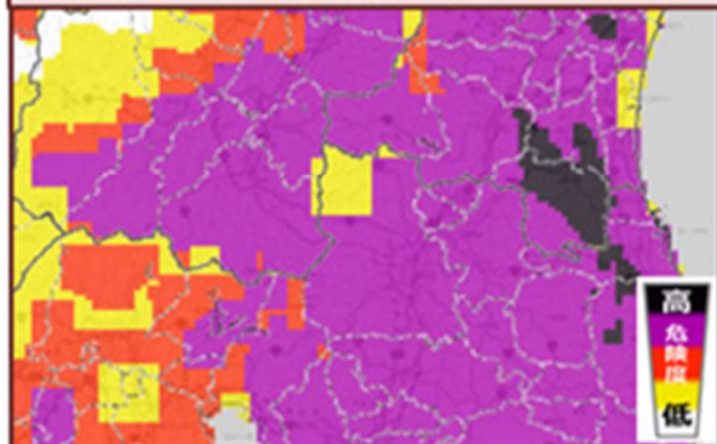


<学習したこと>
気象庁のHPでは、
リアルタイムであらゆる
気象情報がわかる

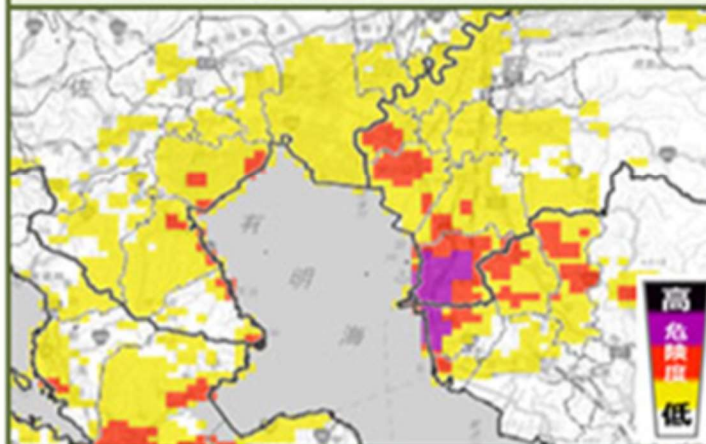
テレビだけじゃないよ

図は気象庁HPhttps://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/tem_rct/index_mxtem.html、
2026年8月2日検索

土砂キキクル
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



浸水キキクル
(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



洪水キキクル
(洪水警報の危険度分布)



図は金武町役場、<https://www.town.kin.okinawa.jp/soshiki/somuka/gyomuannai/1/2/2/2130.html>、2026年8月2日検索

キキクル
知ってる？

気象庁のHPで
みられるよ

- キキクルの正式名称は「危険度分布」で、「危機が来る」という言葉に由来するニックネーム。
- 土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度を、どこで、どのレベルの危険が迫っているかを視覚的に一目で確認できる点が最大の特徴。スマートフォン、タブレット、パソコンからアクセス可能で、外出先でも自宅でも利用できる
- 文章はCopilot searchより、2026年8月2日検索

南海トラフ地震は他人事ではない

- 時間差で発生する巨大地震に備えることが大事
- 南海トラフ地震で長野に伝わる時間は約80秒予測（秒速4 km）

★地震速報からの対応は生命を守ること

- 地震が起きたら、スマホ見るでなく、すぐに命（頭部）守ること
- 運転中だったら、あわてて停車でなくゆるやかにスピードおとし
ハザードランプ点灯して、後車に知らせる

- 地震火災を防ぐため、火を消す

①感電ブレーカーの設置をしておく

②電気ストーブや熱帯魚のヒーターなどで火災が起きやすい

物資はすぐに届かない・気象の怖さもある

- 南海トラフ地震では被害が大きい場所に物資がいくため、軽井沢にはすぐには届かない
- 地震の被害が少なくても、「水」が不足する可能性がある
- 能登半島地震では凍死者が32人。軽井沢は冬はもっと寒くなる。零下の世界。
水や食料だけでなく、毛布や使い捨てカイロなども備蓄
- 夏は熱中症で生命の危険



監視される火山

気象庁では、以下の項目で活火山評価を続けている

1. 震動観測・空振観測（地震計・空振計等の観測施設を整備）
2. 遠望観測（高感度カメラで噴煙、噴出物、火映等の観察）
3. 地殻変動観測（GNSS、傾斜計等による地殻変動の観測）
4. 熱観測（赤外熱映像装置を用いた火口周辺の地表面温度分布の観測や、サーミスタ温度計を用いた噴気地帯等の噴気温度・地中温度の観測）
5. 機上観測（ヘリコプターによる航空からの観察）
6. 火山ガス観測（二酸化硫黄の放出量は、遠隔測定が可能で小型紫外線スペクトロメータ（COMPUSS）使用）
7. 噴出物調査



内田陽子、浅間山スケッチ



気象庁の情報に 注目しよう

私たちはテレビで気象庁の報告を
受けるが、HPではリアルタイムで
細かな情報が可視化
スマホからでもすぐに確認できる

情報は主体的獲得しよう

本教材は
JST共創の場形成プログラム
JPM2301の支援を受けました